

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年 9月 6日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	計装用圧縮空気系空気圧縮機(A)軸封部において、押さえボルトの緩みにより負荷運転時に異音及び空気の漏えいが認められたため、当該空気圧縮機の運転を停止し、当該押さえボルトの締め付けを行ったところ運転状況は正常となった。	G III	9月3日
2	3号機	コントロール建屋地下1階(非管理区域)中央制御室冷凍機(B)において、容量調整用急速無負荷電磁弁銅管接続部より潤滑油(第4類第3石油類)の漏えい(下部架台内(堰内)に約135リットル※)を当社社員が発見。当該冷凍機を停止後、潤滑油の漏えい箇所を補修テープにて処置を行い潤滑油の漏えい停止を確認。また冷媒(フロン)の漏えいが認められたため、フロンを回収後、当該部を点検・修理。 なお、潤滑油の漏えいについては、消防署による現場確認で消防法に基づく「危険物の漏えい事故ではない」と判断された。潤滑油だまりについては回収済み。 ※9月3日「原子力発電所に関する通報連絡要綱」に基づく通報時に潤滑油の漏えい量の概算値を「約230リットル」と記載しておりましたが、現場を詳細に確認した結果「約135リットル」でした。	G II	9月3日